

チャリティー収入送金先情報

チャリティの収益は全額、
「福岡おにぎりの会」に寄付します。

「福岡おにぎりの会」は、福岡市内で野宿生活を
余儀なくされているホームレスの人たちを支援するために
1996年に発足しました。それ以降、炊き出しを中心にした活動を進め、
1998年頃からは、路上からの自立支援活動を開始し、
2004年には、NPO法人（非営利活動法人）として活動しています。
活動内容には炊き出し、相談支援、自立支援、行政との協働事業などが
あります。この支援を通じて自立した人は150名を越え、現在は
自立後の生活を支える「自立後支援事業」にも力を入れています。

アクセス

大丸福岡天神 エルガーラ・パサージュ広場
〒810-8717 福岡市中央区天神1-4-1



Program

福岡の私立キリスト教5校が参加し、「私たちのクリスマス」をご紹介します。

14:00-14:15

福岡雙葉中学校・高等学校 合唱部

14:25-14:40

福岡女学院中学校・高等学校
音楽科アンサンブル

14:50-15:05

福岡海星女子学院高等学校 吹奏楽部

15:15-15:30

上智福岡中学高等学校 吹奏楽部

15:40-15:55

西南学院中学校・高等学校 合唱部×吹奏楽部

16:05-16:20

福岡女学院中学校・高等学校 ハンドベルクワイア

16:30-16:45

福岡雙葉中学校・高等学校 吹奏楽部

2019 キリスト教学校 クリスマスフェア in 福岡

14:00~17:00

音楽の調べ
チャリティ販売

「本当のクリスマス」を
探しにきませんか?

2019.12.7 Sat.

大丸福岡天神
エルガーラ・パサージュ広場
(福岡市中央区天神 1-4-1)



上智福岡

中学高等学校

上智福岡では、「Men and Women for others, with others」(他者のために、他者と共に)の精神に基づき、様々な活動を行っています。聖書研究会という有志による各学年のグループ活動の中で、ホームレスの方々への炊き出しに参加したり、東ティモールにある姉妹校を通しての支援運動を行っています。

生徒会では、あしなが学生募金や災害被災地への救援募金などにも積極的に参加をしています。



福岡女学院

中学校・高等学校

夏休みの修養会では障がい者施設でのボランティアキャンプを行います。Missionオーケストラ部・ハンベル部による病院慰問など、年間を通して様々なボランティア活動に参加しています。「収穫感謝礼拝」では全校生からお米などの献品を募り、ホームレス支援団体に献げます。「クリスマス礼拝」で献げられた献金は、全国の小さくされた人たちの元に届けられます。本校がかかげる「大切なひとり」というテーマを实践する場として、このような奉仕活動に取り組んでいます。



福岡雙葉

中学校・高等学校

中学では、宗教委員会を中心に希望者を募って、街頭募金を行っています。また、毎年12月下旬に奉仕の日を定め、クリスマス街頭募金のほか、老人ホーム数カ所に分かれて訪問するなど、全員参加を目指して活動しています。

高校では、4月のあしなが街頭募金に希望者が参加し、中学同様12月に高1・高2の希望者が街頭募金を行っています。

中高全体では、世界の貧しい地域の子もたちへの里親支援の活動として、チャイルドスポンサーシップを実施しています。



西南学院

中学校・高等学校

建学の精神を表す「4つのL」～Life(生命)、Love(聖愛)、Light(光明)、Liberty(自由)～を体現する活動としてさまざまな活動に取り組んでいます。西新地区一帯で実施する12月の「クリスマス街頭募金」、3月の「震災忘れない募金」には中高の学年の垣根を越えて、毎年多くの希望者が参加しています。また、年に2回、障がい児(者)施設や老人ホーム、福祉施設を訪問する体験学習も継続しています。これらの機会を通して、一人ひとりが自分に与えられた「賜物」を生かしながら他者に仕え、隣人として共に生きる心と知力を育みます。



キリスト教学校のはたらき

聖書を基として創立した学校をキリスト教学校と呼び、福岡にもカトリック系、プロテスタント系の学校があります。

さて、聖書の中には「隣人愛」という教えがあります。それは、神様から与えられている能力を自分だけのために使うのではなく、隣りで困っている人や社会をより良くするために使うのだというもの。

ともすれば自己中心的になりがちな時代に、キリスト教学校は「隣人愛」を胸に秘めながら生きる生徒を育てます。それがキリスト教学校の使命です。



福岡海星女子学院

高等学校

福岡海星女子学院高等学校では、本校の設立母体である「マリアの宣教者フランシスコ修道会」の設立者マリ・ド・ラ・パシオンの「悲しむ人苦しむ人のために」という精神に基づいて募金活動、熊本地震や九州北部豪雨などの被災地でのボランティア活動などに取り組んでいます。校内外で行う募金活動によって集まった浄財は修道会を通して東日本被災地やアフリカの医療・教育施設の支援にあてられています。すべての人が平和と喜びのうちに生活することができるよう願っています。